

## 第8回 野洲市総合計画審議会 会議結果の概要

日 時：平成23年9月12日（月）午後2時00分～午後3時30分

場 所：コミュニティセンターきたの大ホール

出席委員：21名（欠席委員8名）

### 1. 開会

### 2. 市長開会あいさつ

これまで7回の総合計画審議会を開催し、委員の皆さん方のお力添えで今回取りまとめるところに至った。

3月11日の大きな震災・津波事故があり、日本のあり方、あるいは国民の意識も随分変わったと思う。先般の大水害も本当に大きな災害となった。滋賀県は安心な地域だと言われるが、昭和28年、34年の大水害では、人命も失われ、被害を受けている。災害についても、地域のこととして、安全の観点を含め、よりよい野洲を目指していきたい。

様々なご意見を賜り、内容の厚い計画になった。あとはこれをいかに皆さんとともに実現していくかということや、きちんと進行を管理するということが重要である。本日はこれらの点も含めて総仕上げをしていただきたい。

### 3. 会議の成立確認

### 4. 審議事項

#### ①総合計画見直しに係る最終案(答申案)の確認について

- \*第4章 将来都市像の1. まちづくりの基本理念として、まちづくり基本条例前文の一部を抜粋して掲載している。
- \*資料編として、まちづくり基本条例、計画や構想の一覧、関連する事業の一覧、現行計画の評価指標一覧を掲載する。また、審議経過や市民懇談会、パブリックコメントの実施状況、用語解説も事務局で整理する。

#### <主な意見等>

- \*「はぐくむ」や「育む」、「しくみ」や「仕組み」など表記ゆれが様々な箇所で見られるので、いずれも統一した方がよい。
- \*「ユニバーサルデザイン」や「ワーク・ライフ・バランス」などの意味がわかりにくい専門用語はあまり使わない方がよいのではないか。  
→一見して意味のわかりにくい用語については、資料編に注釈を掲載して対応する。
- \*想定される主な取り組みについて、体言止めの文章にもかかわらず読点が多用されすぎている。読点はあまり入れない方が文章の流れがよいのではないか。  
→読点を入れない方が文章の流れはよいと思うが、修飾節がどこに係るかをわかりやすくし、意味を正確に読み取れるようにするために必要だと判断している。
- \*第3章(1)沿革と地勢の文中に「玉つくりを行っていた工房」とあるが、これは「玉つくり工房」でよいのではないか。  
→「玉つくり工房」とすると固有名詞となってしまう。初見の人が見てもわかりやすいよう、現行のままをしたい。
- \*資料編について、総合計画が現在どのように実施されているかということを示すために、分

野別計画の一覧だけでなく、関連する審議会、委員会の一覧も載せていただきたい。

\* 現行計画はめざすべき将来像の具体化が十分でなかったという認識の下、見直しを進めてきたと思うが、固有名詞を削除するなどしたことによって、かえって見直し案の方が具体的でなくなったのではないか。

→各施策、内容について非常に丁寧な点検作業をし、計画中の文言が具体的に何を指し示しているか、めざす姿をどのように実現していくかということについて議論を重ねてきた。

そのため、具体化が進まなかったとは認識していない。

\* 今後、総合計画の具体化を進めていくにあたって、自治会の振興と次世代の育成に力を入れていく必要がある。

#### <見直しに係る最終案の確認>

\* 野洲市総合計画見直し案について最終確認を取ったところ、「異議なし」の声があり、最終的な承認がされた。

#### ②答申文書の確認について

\* 前回の指摘を踏まえ、「わかりやすく周知する」を「共有できるよう周知する」と修正した。

#### <答申文書の確認>

\* 野洲市総合計画見直し案の答申文書について最終確認を取ったところ、「異議なし」の声があり、最終的な承認がされた。

#### 5. その他

\* 今後、見直し案に対するパブリックコメントを募集し、反映すべき意見を取り込んだ上で、12月の議会へ提案するという予定で準備を進めている。

\* 議会承認後は速やかに改訂版の印刷・製本に取り掛かり、年度内には改訂版を完成させる予定である。

#### 6. 閉会